

百人邑が募集

薬草農場の1坪オーナー

就労A型・自立訓練多機能事業所の①百人邑（安佐北区安佐町飯室2-126、竹添寛二代表理事）は、同所の農場で栽培する薬草の1坪オーナー制度を始めた。

浴湯剤となる当帰と、薬草香に使う柴胡を栽培。当帰は婦人薬として重宝され、浴槽に入れるだけで肌荒れ、肩凝り、腰痛、冷え性、しもやけなどに良いとされる。柴胡でつくる薬草香（安眠香）は気分をリラックスさせ、ストレスを発散させる。

1坪当たり約20苗を収穫して加工した当帰湯と、安眠香を年1回郵送。

年会費は5万円。山菜、野菜セットや各種田舎暮らしイベントなども案内（別途料金）。販売サイト（<https://www.kaltekiteian.com/>）。

